



2021年4月30日

各 位

会 社 名 株式会社 **ラピーヌ**  
代表者名 代表取締役社長 佐々木ベジ  
[コード番号 8143 東証 第2部]  
問合せ先 取締役常務執行役員経営統括本部長 尾崎史照  
(TEL 06-6946-3600)

## 当社株式の時価総額に係る猶予期間の解除についてのお知らせ

当社株式は、2021年3月の月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円未満となり、東京証券取引所の有価証券上場規程第601条第1項第4号a（時価総額）に定める上場廃止基準に係る猶予期間に入りましたが、本日、猶予期間から解除する旨の通知を東京証券取引所から受領しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 猶予期間の解除理由

東京証券取引所では、2022年4月4日に予定している市場区分の見直しに向けて、本日、「市場区分の見直しに向けた上場制度の整備に伴う有価証券上場規程等の一部改正について（第二次制度改正事項）」を公表しており、当該改正により、新市場区分における上場維持基準には含まれない上場廃止基準が2021年6月30日付で削除されることから、当社株式について、時価総額基準に係る猶予期間から解除したとのことです。

#### 2. 今後の見通しについて

当社グループが主力事業とするアパレル業界におきましては、新型コロナウイルスの影響により、極めて厳しい状況が続いており、現時点においても3回目の緊急事態宣言が発出されるなど、コロナ禍の収束が見通せない中、2022年2月期の業績見通しにつきましては、2021年4月14日公表の「2021年2月期決算短信」に記載のとおり、売上高53億円、営業損失9億円、経常損失9億円、親会社株主に帰属する当期純損失9億円を予想しております。

今後におきましては、引き続き製造・仕入の抑制、不採算店舗の閉鎖、経費の削減に努めるとともに、2021年3月1日付で代表取締役社長に就任した佐々木ベジが、これまで多くの企業活性化を実現された経営手腕を発揮し、財務面、経営面から経営改革を推し進め、役員、従業員も一丸となって企業価値、収益性の向上に努めることで、東京証券取引所における上場を維持するよう最大限の努力を行う所存であります。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしました。引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上